

# 医療法人群馬会

所在地：高崎市稲荷台町136番地  
労働者数：554名（女性332名、男性222名）  
事業内容：精神科急性期治療病棟等の運営  
代表者：理事長 村山 昌暢



## 子育て支援で職員の定着を目指す

村山理事長

以前から働きやすい職場づくりを目指しておりましたが、次世代育成支援対策推進法の施行に伴い、子育て支援をすることは、特に女性の職員に対して働きやすい職場環境を提供できると考え、育児休業取得推進、事業所内託児施設の設置・運営の充実、子の看護休暇、育児短時間勤務制度などの周知を行ってまいりました。

女性の育児休業取得率は100%で、2人目、3人目を出産した職員も多くいます。また、育児短時間勤務の利用等により子育てと仕事を両立し、副師長として活躍する女性もいます。



## 事業所内託児施設は2か所運営

事業所内託児施設

平成5年に群馬病院内託児施設（<sup>くるみ</sup>来未保育園）を設置。その後も子育て支援に積極的に取り組み、平成18年には赤城高原ホスピタル・赤城苑内託児施設（つばくろ保育園）を設置し、子育てしながら、安心して働くことができる環境整備を進めています。

来未保育園は、平成20年から日曜日を含めて全日開所となり、子育て世代の戦力化に繋がっています。また、女性職員のみならず、男性職員の奥様が2人目・3人目などの出産前後にお子様をお預けになる等、男女問わず利用していただいております。



## 群馬会は、働き方の見直しを進めています。

### 年次有給休暇の取得促進

- ・取得率は、例年60%前後を推移。定期的に行う衛生委員会で、部署・職員ごとの取得率を情報共有し、取得率が低い職員に対しては、積極的に取得するよう所属長を通じて周知徹底しています。
- ・どこの事業所、部署でも平均的に年次有給休暇を取得できるよう、取得率が低い部署については、業務配分の見直しや、職員の増員を検討する等の対策を行っています。

# 群馬会の概要を紹介します。

- ・**群馬病院**（精神科・心療内科）、**赤城高原ホスピタル**（アルコール依存症・薬物依存症専門病院）、**赤城苑**（介護老人保健施設）を中心に、宿泊型の生活訓練施設や、グループホームなどを運営しています。
- ・**高い専門性と多職種**によるチーム医療・チーム介護が特色です。バランスのとれた医療・介護を目指しています。

## 「イクメン」を増やすための取組み

男性も育児休業を取得できること、是非取得してほしいという法人のメッセージを、職員配布用のリーフレットに明記し、育児休業給付の案内も添えて周知。その結果、男性職員育児休業取得者第一号の板倉さんは約2か月休業しました。

（育児休業を取得した、板倉康広さんのコメント）

二人目の時に、妻は産休、私は育休と分担して休みをいただきました。日々変わっていく子どものちょっとした成長に気づくことができたり、子どもを抱えての家事・買い物など今まで妻がしていたことの大変さを身をもって学ぶことができたり、家族と向き合って、自分がどう生活したいのかを考える機会となったり、妻とも分かり合える部分が多くなったと思います。子育ての体験は復職後も様々なところで仕事に良い影響を与えたと実感しています。

育児休業はとても貴重な時間となりました。皆様のご協力のもと、育児休業をいただけたことに深く感謝しています。

育児休業を取得した板倉さん



## くるみんマークを人材確保に活用

当法人ではくるみんマークをホームページ、病院・施設内に掲示しております。ホームページにくるみんマークを掲載して以来、求人アクセスもホームページからの比率が多くなっており、

今後も男女問わず育児休業取得を推進していきます。年次有給休暇取得率も60%以上が保てるよう、より一層働きやすい職場づくりを目指していきます。

くるみんマークの活用



## 育児・介護休業制度の概要及び実績

- ・**育児休業**…平成23年4月～平成26年3月までの間で、男性が1名、女性が12名取得（女性の取得率は100%）。原則として子が1歳に達するまで、特別な事情があれば1歳6か月まで、取得可能。
- ・**育児短時間勤務制度**…子が3歳に達するまで利用可能。女性3名が利用（平成26年12月までの実績）。
- ・**子の看護休暇**…子が小学校に入学するまで、病気等の看護のため、子が1人の場合は年5日間、2人以上の場合は年10日間取得可能。述べ取得日数は、平成21～25年度で21.5日（取得者は女性のみ）。
- ・**事業所内保育施設**…子が小学校に入学するまで利用可能で、土日も運営。登録者は19名で、平成26年12月の延べ利用日数は204日。
- ・**介護休業及び介護短時間勤務制度**…要介護状態の家族介護のため、通算93日間利用可能。平成25年度までの利用者は女性2名。